



平成30年11月14日

各位

会社名 株式会社学研ホールディングス

代表者名 代表取締役社長 宮原 博昭

(コード：9470 東証第1部)

問合せ先 執行役員 財務戦略室長 安達 快伸

電話 03 (6431) 1016

## 学研グループ中期経営計画「Gakken2020」策定のお知らせ ～グループ力の結集～

このたび2ヵ年計画「Gakken2020」(2019年9月期～2020年9月期)を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1. 前2ヵ年計画「Gakken2018」レビュー

#### (1) 総括

2016年11月に発表した2ヵ年計画「Gakken2018」では、当期間を「持続的成長へのテイクオフ」フェーズと位置付け、①教育分野はブランドの再構築による更なる成長と収益基盤の盤石化、②医療福祉分野は事業拡大と収益力の向上、③経営基盤の強化、④資本効率の向上と株主還元を経営方針に掲げ、持続的成長による企業価値向上に取り組んでまいりました。

その結果、教育分野では出版を中心とした新規事業の創出・育成や文具事業に課題があるものの医療福祉分野の事業拡大などにより、売上高、営業利益、営業利益率などの経営目標を達成しました。

#### (2) 定量目標及び実績

(単位：百万円)

	18年9月期	18年9月期	計画比
	修正計画	実績	差異
売上高	107,000	107,030	30
営業利益	3,600	3,652	52
営業利益率	3.4%	3.4%	0.0%
当期純利益	2,600	3,058	458

(※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益)

※18年9月期修正計画の数値は、2017年11月に発表した業績目標です。

## 2. 中期経営計画「Gakken2020」の概要

### (1) 新2ヵ年計画「Gakken2020」の位置づけ

当社グループは2009年10月の持株会社制導入以降、塾事業や介護事業を中心に積極的な投資を行い、「教育」と「医療福祉」の両分野で事業拡大を進めてまいりました。グループの主要事業を取り巻く市場環境は、教育分野では2020年の教育改革、医療福祉分野では団塊世代が75歳を超えて後期高齢者となる2025年問題など、対処すべき社会課題そのものと認識しております。

この市場環境変化や社会的課題に立ち向かうため、今一度グループ一丸となり、更なる企業価値向上に努めていく決意から、新2ヵ年計画のスローガンを「次代を拓くグループ力の結集」と決めました。

### (2) 経営数値目標

本計画最終年度の2020年9月期計画は、売上高1,400億円、営業利益50億円、当期純利益33億円としております。

また、売上高営業利益率5.0%、ROE8.0%、配当性向30%以上を2023年9月期の目標として定め、引き続き収益力と資本効率の向上に努めてまいります。

(単位：百万円)

	18年9月期	19年9月期	20年9月期	23年9月期
	実績	計画	計画	目標
売上高	107,030	135,000	140,000	-
営業利益	3,652	3,800	5,000	-
営業利益率	3.4%	2.8%	3.6%	5.0%
当期純利益	3,058	2,500	3,300	-
当期純利益率	2.9%	1.9%	2.4%	-
ROE	8.0%	6.1%	7.7%	8.0%
配当性向	21.4%	-	-	30%以上

(※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益)

### (3) 経営方針

当社を取り巻く事業環境の急激な変化の中で、教育分野と医療福祉分野を成長の軸として、未来に繋がる良質な商品・サービスを継続提供することを目指し、「2つの成長エンジンで次代を拓く」を経営方針に定め、持続的成長による企業価値向上を図ってまいります。

#### ① 分野別の事業方針

- ・「教育分野」～自ら事業を変革させ新しい学びを牽引
- ・「医療福祉分野」～サービス拡大と更なる品質向上の追求

#### ② 経営基盤の強化

#### ③ 資本効率の向上と株主還元

- ・ROE向上を目指したROIC導入（想定資本コスト4%）
- ・1株当たりの配当：2019年度75円

更に、下記7つの経営施策により、経営基盤の強化を実現してまいります。

- i) 事業戦略モニタリング
- ii) 組織人事改革
- iii) 収益構造改革
- iv) ポートフォリオ変革
- v) 財務戦略
- vi) 投資評価
- vii) マーケティング強化

#### (4) 事業戦略の概要

分野別の主な戦略は以下の通りです。

##### 【教育分野】

###### ・教育サービス事業

「新しい学習コンテンツをグループ横断で開発、リアル教育の場で実践」

学研教室：教室数の維持・拡大

コースの強化（算国→算国英、STEAM 本格化）、英語塾立上げ

進学塾：ドミナント戦略と自立型個別学習システム拡大を推進

コースの開発（プログラミング、4技能対応英語、アセスメント）

教育アライアンスネットワーク（NEA）の構築

###### ・教育コンテンツ事業

「カテゴリートップ実現と業態転換」

学習参考書：英検書シリーズでシェア拡大

児童書：各カテゴリーでトップシェア

英語：オンライン英会話導入先の拡大、東京都英語村の運営強化

###### ・教育ソリューション事業

「選択と集中、成長育成により筋肉質の事業体に変革」

保育：オリジナル商品

幼児教室：知育・科学・英語分野の拡大

学校：教科書営業体制の強化（保体トップ維持、道徳シェアアップ）

##### 【医療福祉分野】

###### ・医療福祉サービス事業

「学研版地域包括ケアシステムの実現」

介護：サービス付き高齢者向け住宅とグループホームのシナジー創出

サービス機能の相互補完、施設開発力・展開力の向上

地域包括ケアモデルの全国普及

サービス付き高齢者向け住宅

首都圏の更なる収益性の向上、ドミナント開発

湘南エリアの事業再構築（商品・価格帯の見直し）

西日本の入居率向上、地方未出店エリアへの進出

グループホーム

運営棟数の拡大、認知症ケア・サービス品質の向上、海外拠点の収益化

保育：新園展開のスピード向上と人材確保

運営ガイドラインと学研アプローチ構築による保育品質の向上

学童施設の運営受諾

医療：e-ラーニングの契約病院数拡大

#### (5) セグメント別事業計画

セグメント別事業計画は以下の通りです。

(単位：百万円)

セグメント別業績目標		18年9月期	19年9月期	20年9月期
		実績	計画	計画
教育分野	売上高	79,340	76,500	79,500
	営業利益	2,587	2,080	2,780
	営業利益率	3.3%	2.7%	3.5%
教育サービス事業	売上高	30,353	30,000	31,000
	営業利益	1,392	1,100	1,200
	営業利益率	4.6%	3.7%	3.9%
教育コンテンツ事業	売上高	30,059	28,500	29,500
	営業利益	549	440	580
	営業利益率	1.8%	1.5%	2.0%
教育ソリューション事業	売上高	18,928	18,000	19,000
	営業利益	646	540	1,000
	営業利益率	3.4%	3.0%	5.3%
医療福祉分野 医療福祉サービス事業	売上高	24,415	55,500	57,500
	営業利益	1,036	1,700	2,200
	営業利益率	4.2%	3.1%	3.8%
その他	売上高	3,273	3,000	3,000
	営業利益	25	20	20
	営業利益率	0.8%	0.7%	0.7%
合計	売上高	107,030	135,000	140,000
	営業利益	3,652	3,800	5,000
	営業利益率	3.4%	2.8%	3.6%

※本資料には、将来の事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。

以 上